

## 『創価経営論集』総目次

—第1巻第1号～第31巻第3号—

## 第1巻第1号（1977年1月）

## 論 文

- シェアの商業経営学……………中村常次郎（1）
- 日本的経営論序説——集団主義……………藤田藤雄（19）
- 経営の人事・社会政策における人間の問題  
——労働の人間化とその前提について……………上武健造（35）
- リーガー私経済学の方法と課題……………高橋宏幸（49）
- 国際金融面からの多国籍企業の功罪について……………飯田一彦（71）
- 組織とサイバネティックス……………宮沢光一（77）
- バーナード組織理論における社会プロセスについての考察……………高橋蔦美（91）
- 米国におけるCAI方式のカリキュラム分析（その1）……………蒲生栄治（103）

## 第1巻第2号（1977年3月）

## 論 文

- 棚卸資産の会計問題と測定基準  
——近年における測定理論の発展について……………高松和男（1）
- How to Adapt the PERT/COST Method  
to Management Accounting……………Kyosuke Sakate（9）
- 機械製造工程の定型化とその効果……………金子治（21）
- 経営意思決定のための管理科学情報の活用と  
データ・ベースに関する一考察（上）……………山内昭（33）

## 報 告

- 西独における経営参加  
——フィッシャー教授の昨秋の創価大学における講演に関連して……………篠田雄次郎（49）

## 第2巻第1号 (1977年12月)

## 論 文

## 集団主義の本質

——集団主義とは何か、その意味するもの——……………藤 田 藤 雄 (1)

保険に関するドイツ保険学会の定義……………印 南 博 吉 (19)

洪沢敬三と第一銀行……………山 口 和 雄 (33)

有限会社の株式会社への組織変更……………三 森 茂 郎 (49)

## 第3巻第1号 (1978年11月)

## 論 文

## 東と西；その思考の相違

——ベネディクト女史の『菊と刀』を中心として——……………藤 田 藤 雄 (1)

企業予算制度の目的と機能……………吉 田 弥 雄 (39)

バーナード組織理論の静学的考察と動学的考察……………高 橋 蔦 美 (53)

## 第二期ゲーテンベルク経営経済学の形成

——経営指導者と経営類型論に関連して——……………高 橋 宏 幸 (63)

## 第3巻第2号 (1979年2月)

## 論 文

## 繰延資産の会計的性格

——商法の規定との関連を中心として——……………高 松 和 男 (1)

## 地域開発の論理構造

——階層的行政機構の下で——……………宮 沢 光 一 (11)

## グループ生産による工場内専門化とその発展方向

——ソ連機械製作企業を中心として——……………金 子 治 (19)

部門別原価計算における線型代数の適用……………坂 手 恭 介 (37)

## 翻 訳

地価と市街地配分のダイナミック・モデル……………蒲 生 栄 治 訳 (55)

## 第3巻第3号 (1979年3月)

## 論 文

保険学説としての入用充足説の由来……………印 南 博 吉 (1)

創業期三井物産会社の企業組織……………山 口 和 雄 (23)

## 論 壇

生命論に基づく価値論の発想転換と

貨幣経済の在り方について…………… 飯 田 一 彦 (37)

## 第 4 卷第 1 号 (1980年 2 月)

## 論 文

責任と権限の問題 (その 1)…………… 藤 田 藤 雄 (1)

AICPA の会計公準論

—会計公準の体系について—…………… 高 松 和 男 (31)

経営意思決定のための管理科学情報の活用

とデータ・ベースに関する一考察 (中)…………… 山 内 昭 (45)

経営経済学と科学理論的研究…………… 高 橋 宏 幸 (61)

## 第 4 卷第 2 号 (1980年 3 月)

## 論 文

バーナードにおける「責任」の概念

—経営管理論における責任と権限の問題 (その 2) —…………… 藤 田 藤 雄 (1)

AICPA の基礎概念論

—ARS No. 7の基礎概念について—…………… 高 松 和 男 (23)

戦後の経営的社会給付

—人事政策と社会給付の関係について—…………… 上 武 健 造 (37)

## 資 料

創価大学における情報処理教育システムの概要

—会話型教育支援システム ACE を中心に—…………… 創価大学電子計算室 (49)

## 第 5 卷第 1 号 (1981年 2 月)

## 論 文

三井物産と三井銀行

—史的考察—…………… 山 口 和 雄 (1)

会計公準の性格と体系

—ARS 第 1 号にたいする諸論評を中心として—…………… 高 松 和 男 (21)

日本における「責任」の概念 (その 1)…………… 藤 田 藤 雄 (37)

Der wirkliche Begründer der Bedarfstheorie

Eine dogmengeschichtliche Studie…………… Hirokichi Innami (55)

Information Value and The Entropy Formulas…………… Koichi Miyasawa (75)

## 第5巻第2号 (1981年3月)

## 論 文

- 日本における「責任」の概念 (その2)……………藤 田 藤 雄 (1)
- 会計の基礎概念としての実現概念  
— AAA 実現概念委員会の報告書を中心として— ……………高 松 和 男 (15)
- 米国における CAI 方式のカリキュラム分析 (その2)……………蒲 生 栄 治 (31)

## 文献解題

- エス・ペ・ミトロファノフ著『機械生産の科学的組織化』……………金 子 治 (43)

## 特別寄稿

- Essential Characteristics for the Establishment of Japanese  
Type Multinational Enterprises  
— International Management Strategy of Japanese Type Management  
Culture : Concerning the Transfer of Japanese Type Management to  
Indonesia — ……………Motofusa Murayama (53)

## 第6巻第1号 (1982年1月)

—木村重義教授追悼論文集—

- 木村重義教授追悼記念論文集の発刊に寄せて……………藤 田 藤 雄 (i)
- 木村重義先生を偲んで……………宮 沢 光 一 (iii)

## 特別寄稿

- 引当金会計に関する一試論……………寫 村 剛 雄 (1)

## 論 文

- 荻生徂徠における「道」  
—日本における「責任」の概念 (その3) — ……………藤 田 藤 雄 (11)
- 倉見屋八左衛門家店卸帳の分析……………山 口 和 雄 (27)
- 日本経営学の構想……………山 城 章 (47)
- 米国における CAI 方式のカリキュラム分析 (その3)……………蒲 生 栄 治 (61)
- AICPA の会計原則論  
— ARS 第3号を中心として— ……………高 松 和 男 (65)
- 会計更生法における取締役の権限……………三 森 茂 郎 (89)
- 個別財務諸表における税効果会計適用を巡る問題点……………辰 巳 正 三 (101)
- 各国の労使関係について  
—日・独・英の労使関係比較— ……………上 武 健 造 (111)
- 財務収益性分析の意義と限界……………坂 本 恒 夫 (123)

直接原価・期間原価の概念上のフレームワークと問題点(1)……………	志村 正	(135)
木村重義教授略歴・業績……………		(145)

## 第6巻第2号(1982年3月)

——中村常次郎教授追悼論文集——

中村常次郎教授追悼記念論文集の発刊に寄せて……………	藤田 藤雄	(i)
中村常次郎先生を偲ぶ……………	竹内 敏夫	(iii)
中村常次郎先生の思い出……………	高松 和男	(v)

### 特別寄稿

日本におけるパートナーシャフト……………	エドゥアルト・ガウグラール	(1)
----------------------	---------------	-----

### 論 文

明治期北陸地方の近代海運業……………	山口 和雄	(7)
本居宣長における「道」——上つ代の道——		
——日本における「責任」の概念(その4)——……………	藤田 藤雄	(23)
日本経営学の実践学的構築……………	山城 章	(51)
経営管理の諸問題		
——サイバネティックス視点から——……………	宮 沢 光 一	(61)
会計原則の形成と展開		
——AICPAのARS第7号を中心として——……………	高松 和男	(71)
生産準備の組織化とその効果		
——ソ連機械製作企業に関して——……………	金子 治	(89)
日本的労務管理の一考察……………	上 武 健 造	(105)
産業のダイナミズムと Entrepreneurship		
——1880年から1914年におけるイギリスのケースについて——……………	高 橋 蔦 美	(115)
経営意思決定のための管理科学情報の活用と		
データ・ベースに関する一考察(下)……………	山 内 昭	(125)
株式会社財務論の方法		
——企業集団財務論方法序説〔1〕——……………	坂 本 恒 夫	(141)
ポスト・グーテンベルクにおける経営経済学の		
科学理論的再構成……………	高 橋 宏 幸	(159)
直接原価・期間原価の概念上のフレームワーク		
と問題点(2・完)……………	志 村 正	(169)

### 資 料

ロブニッツ造船所(スコットランド、レンフリー)の		
原価計算諸資料……………	坂 手 恭 介	(183)

中村常次郎教授略歴・業績	(217)
--------------	-------

### 第7巻第1号 (1982年12月)

#### ——印南博吉教授退任記念論文集——

印南博吉教授退任記念論文集の発刊に寄せて	山口和雄 (i)
印南先生と私	高松和男 (iii)

#### 特別講演

印南博吉教授最終講義「保険の基本原則」	(1)
---------------------	-----

#### 論文

会計原則の発展と財務会計の諸概念	高松和男 (7)
——FASBの財務会計概念報告書を中心として——	
更生会社における資本の減少	三森茂郎 (31)
「コンピュータ科学」考察の視点序説	山内昭 (49)
投入産出分析による予算管理	坂手恭介 (63)
——製造直接費予算への適用と差異分析——	
減量経営下における株式持合いの構造と機能 (1)	坂本恒夫 (75)
直接原価計算成立史序説	志村正 (91)

#### 随想

アメリカを旅して——最近のアメリカ雑感	藤田藤雄 (107)
印南博吉名誉教授略歴・業績	(123)

### 第7巻第2号 (1983年3月)

#### 論文

道との一体性、一体性の意味	藤田藤雄 (1)
——日本における「責任」の概念(その5)——	
財務報告における「概念構成」の役割り	高松和男 (25)
——FASBの財務会計概念報告書をめぐる諸論評について——	
生産の科学的組織化とその役割 (1)	金子治 (45)
——ソ連工業企業におけるACYII——	
減量経営下における株式持合いの構造と機能 (2)	坂本恒夫 (57)
固定費調整の研究	志村正 (73)

### 第8巻第1号 (1983年10月)

#### 論文

貨幣改鑄と三井組	山口和雄 (1)
----------	----------

個人主義の限界（1）	藤田 藤雄	(23)
——日本に於ける「責任」の概念（その6）——		
経営力序論	山城 章	(33)
——経営の実践学的研究としての経営力アプローチ——		
減量経営下における株式持合いの構造と機能（3）	坂本 恒夫	(47)
比較経営経済学の基本視角	高橋 宏幸	(61)
——比較の認識論的構造と論理的形式化に関連して——		
直接原価・期間原価概念に対する歴史的アプローチ	志村 正	(81)

### 第8巻第2号（1984年3月）

——吉田彌雄教授追悼論文集——

吉田彌雄教授追悼記念論文集の発刊に寄せて	山口 和雄	(i)
吉田彌雄先生の業績	伊藤 博	(iii)
故吉田彌雄先生を偲ぶ（弔辞）	高松 和男	(vii)

#### 論 文

個人主義の限界（2）	藤田 藤雄	(1)
——日本に於ける「責任」の概念（その7）——		
臨時金利調整法の制定	武藤 正明	(23)
物価変動と財務報告	高松 和男	(47)
——FASB ステートメント第33号を中心として——		
管理会計研究の方法	坂手 恭介	(67)
その1——4つのアプローチ——		
財務流動性分析の意義と限界	坂本 恒夫	(81)
科学的認識手段としての経営経済的比較の構想	高橋 宏幸	(97)
——W. Graurock の所論を中心として——		
原価計算システムとコンティンジェンシー理論	志村 正	(137)
吉田彌雄教授略歴・業績		(153)

### 第9巻第1号（1984年11月）

——飯田一彦教授退任記念論文集——

飯田一彦教授退任記念論文集の発行にあたって	山口 和雄	(i)
飯田一彦先生と私	高松 和男	(iii)

#### 論 文

権限の問題（1）	藤田 藤雄	(1)
——日本に於ける責任の概念（その8）——		

「バンキング・ボード」設置構想	武藤正明	(21)
概念構成の発展と会計問題への適用	高松和男	(35)
——バクターの「概念構成」にかんする見解をめぐって——		
OAの進展とコンピュータ技術上の若干の問題(上)	山内昭	(49)
The Financial Characteristics of Japanese Companies and the Role of the Groups	坂本恒夫	(57)
内部業績評価とインフレーション	志村正	(67)
——ROI、RI計算における投資ベースの測定を中心として——		
飯田一彦教授略歴・業績		(87)

### 第9巻第2号(1985年3月)

#### 論文

権限の問題(2)「条件づけ権力」の批判	藤田藤雄	(1)
——日本に於ける「責任」の概念(その9)——		
「ポリシー・ボード」構想	武藤正明	(13)
アメリカにおけるインフレーション会計の発展	高松和男	(25)
——ローゼンフィールドの所説を中心として——		
生産の科学的組織化とその役割(2)	金子治	(43)
——ソ連工業企業におけるACYII——		
記号論理学による経営経済的論理構造の記号化	高橋宏幸	(57)
——バインベルクの所論を中心として——		

#### 研究ノート

資本予算におけるインフレーション配慮の方法	志村正	(97)
-----------------------	-----	------

#### 調査

オーストラリアにおける企業集団財務の国際的展開(1)	坂本恒夫	(125)
----------------------------	------	-------

### 第10巻第1号(1985年12月)

#### 論文

権限の問題(3)権力の行使	藤田藤雄	(1)
——日本における「責任」の概念(その10)——		
政策委員会の設置	武藤正明	(17)
会計上の負債概念の新展開	高松和男	(35)
——FASB・FACS第3号における負債の定義について——		
ソ連工業におけるACYIIの導入とその効果	金子治	(47)
都市銀行の環太平洋戦略と企業集団財務	坂本恒夫	(61)



非営利組織体における原価計算の適用について……………	志 村 正 (89)
Betriebsausbildung in Japan……………	上 武 健 造 (109)

### 第10巻第2号 (1986年3月)

#### 論 文

貿易商茂木の倒産……………	山 口 和 雄 (1)
権限の問題 (4) 権力の行使 (2)……………	藤 田 藤 雄 (15)
——日本における「責任」の概念 (その11) ——	
日本銀行法一部改正法案……………	武 藤 正 明 (33)
会計上の利益概念の発展……………	高 松 和 男 (49)
——FASBのFACS第3号および第5号を中心として——	
株式会社財務論の方法……………	坂 本 恒 夫 (63)
——企業集団財務論方法序説 (2) ——	
ハイネン経営経済学素描……………	高 橋 宏 幸 (79)

#### 資 料

ACYIIにおける情報様式と基本設備について……………	金 子 治 (101)
-----------------------------	-------------

### 第11巻第1号 (1986年11月)

#### 論 文

権限の問題 (5) 権力の行使 (3)……………	藤 田 藤 雄 (1)
——日本における「責任」の概念 (その12) ——	
人造りプロジェクトと労使関係……………	井 上 甫 (17)
——シンガポール生産性向上プロジェクトの体験を通じて——	
イギリスの労使関係管理……………	上 武 健 造 (37)
株式会社財務論の方法……………	坂 本 恒 夫 (53)
——企業集団財務論方法序説 (3) ——	
再組織プロセスへの多変量的アプローチ……………	高 橋 宏 幸 (65)
——E. Gabeleの所論を中心として——	
工場の自動化と直接原価計算……………	志 村 正 (117)
——調査デザインの一視角——	

### 第11巻第2号 (1987年3月)

——創価大学経営学部10周年記念論文集——

創立10周年記念号によせて……………	三 森 茂 郎 (i)
--------------------	-------------

## 論 文

- 三井物産と三井銀行……………山 口 和 雄 (1)  
 —再 考—
- 権限の問題 (6) 権力の行使 (4) ……藤 田 藤 雄 (11)  
 —日本における「責任」の概念 (その13)
- 組織の計画過程と凝集性……………宮 沢 光 一 (35)
- 労使関係の国際比較に関する試論……………井 上 甫 (47)  
 — Technology Transfer との関連において—
- 第2次大戦直後の日本銀行制度改革構想……………武 藤 正 明 (67)
- 株式会社における確定された年度決算書の無効……………三 森 茂 郎 (87)
- 新ラウンドの理念と現実の課題……………江 口 雄次郎 (97)
- ドイツの労使関係管理……………上 武 健 造 (109)
- 機械生産における GT の活用……………金 子 治 (119)  
 —中国機械製造企業を中心として—
- 非公式組織の機能について……………高 橋 蔦 美 (129)
- 経営戦略と DSS ……佐 藤 完 治 (147)  
 —その枠組と今後の展望—
- 組織形成要因としての組織文化……………高 橋 宏 幸 (163)
- 都市を対象としたゲーミング・シミュレーション……………関 口 義 一 (183)  
 —米国のモデルを中心として—
- ファジィ情報の価値について……………土 谷 幸 久 (211)

## 研究ノート

- 非営利組織体における予算編成上の諸問題……………志 村 正 (239)
- 『創価経営論集』総目次……………(255)

## 第12巻第1号 (1987年9月)

## 論 文

- 権限の問題 (7) ……藤 田 藤 雄 (1)  
 —日本における「責任」の概念 (その14) —
- 戦略—組織関係モデルの諸類型……………高 橋 宏 幸 (23)
- 標準原価および原価差異に関する若干の考察……………志 村 正 (43)  
 — FA 化に関連して—

## 研究ノート

- 国際金融・証券市場の構造変化と企業集団財務の変容……………坂 本 恒 夫 (57)

多属性効用関数とその危険回避について……………土 谷 幸 久 (83)

## 書 評

松井和夫著『現代アメリカ金融資本研究序説』……………坂 本 恒 夫 (103)

### 第12巻第2号 (1988年1月)

## 論 文

Stafford Beer の組織理論……………宮 沢 光 一 (1)

中国機械工業の発展と技術導入……………金 子 治 (15)

—第1次5カ年計画期におけるソ連技術の導入を中心として—

西ドイツ企業の再組織プロセスについて……………高 橋 宏 幸 (29)

—W. Kirsch らの研究プロジェクトとの関連で—

The Comparison and Contrast between Two Forms

of Industrial Entrepreneurship :

The West and Japan (1)……………高 橋 蔭 美 (57)

## 研究ノート

モルガン銀行の対日戦略 (上)……………坂 本 恒 夫 (67)

## 書 評

井上信一著；仏教的経営—心と物を活かすリーダーたち……………藤 田 藤 雄 (85)

### 第12巻第3号 (1988年3月)

## 論 文

労働時間の短縮をめぐる諸問題……………井 上 甫 (1)

ソ連の国家統計組織について……………竹 内 清 (21)

第2次大戦後の経営経済学 (1)……………上 武 健 造 (31)

原価計算システムの再構築について……………志 村 正 (43)

—カプランの所説を中心にして—

## 覚 書

財務収益とリスク管理……………坂 本 恒 夫 (55)

—いわゆる「財テク」について—

### 第13巻第1号 (1988年7月)

## 論 文

貸付信託創設の経済的背景……………山 田 昭 (1)

第2次大戦後の経営経済学 (2)……………上 武 健 造 (15)

- Entrepreneurship の比較研究の方法に関する一試論……………高橋 蕙 美 (31)  
 — The Comparison and Contrast between Two Forms  
 of Industrial Entrepreneurship : The West and Japan (2) —

- チームの決定……………土谷 幸 久 (39)

## 覚 書

- 合併・買収と会社財務……………坂本 恒 夫 (59)

## 翻 訳

因果分析の LISREL アプローチと

- マーケティング研究へのその意義……………高橋 宏 幸 (73)

### 第13巻第2号 (1988年12月)

## 論 文

- ベイズ論的立場からの諸考察……………宮 沢 光 一 (1)

- 貨幣法の改正……………武 藤 正 明 (11)

- 構造行列による H. 社経営モデルについて……………坂手 恭 介 (31)

—原型モデルから集約モデルへの展開—

- グループ決定問題……………土谷 幸 久 (49)

## 覚 書

- 企業買収資金調達の実状と課題 (1)……………坂本 恒 夫 (73)

## 翻 訳

因果分析の LISREL アプローチと

- マーケティング研究へのその意義 (続)……………高橋 宏 幸 (87)

### 第13巻第3号 (1989年3月)

## 論 文

- ソ連の商業統計組織について……………竹 内 清 (1)

- 多国籍企業における国際情報通信ネットワーク研究 (1)……………江 口 雄次郎 (7)

- 構造行列による H. 社経営モデルについて……………坂手 恭 介 (21)

—集合化モデルの導入—

## 覚 書

- 企業買収資金調達の実状と課題 (2)……………坂本 恒 夫 (29)

## 研究ノート

- ファジィ選好関係について……………土谷 幸 久 (47)

## 第14巻第1号 (1989年9月)

## 論 文

- 日本的経営論における責任と権限の本質 (総括 その一)……………藤 田 藤 雄 (1)  
 ——日本における「責任」の概念——
- 商法の解釈上からみた一人会社……………三 森 茂 郎 (15)
- 多国籍企業における国際情報通信ネットワーク研究 (2)……………江 口 雄次郎 (33)
- 中国郷鎮工業の発展と諸問題……………金 子 治 (47)  
 ——蘇南モデルを中心として——
- 構造行列による経営全体モデルの構築……………坂 手 恭 介 (67)
- 減量経営下における株式持合いの構造と機能 (4)……………坂 本 恒 夫 (77)

## 第14巻第2号 (1990年2月)

## 特別寄稿

- 退職給付の会計と開示の基準について……………辰 巳 正 三 (1)

## 論 文

- 減量経営下における株式持合いの構造と機能 (5)……………坂 本 恒 夫 (31)
- The Transition Process of the American  
 Managerial Ideologies……………高 橋 蔭 美 (47)
- マーケティング・ミックス・シミュレーションの一考察……………佐 藤 完 治 (59)
- ファジィ情報とその量……………土 谷 幸 久 (81)

## 第14巻第3号 (1990年3月)

## 論 文

- 発展途上国における投資環境と企業経営……………井 上 甫 (1)  
 ——タイとフィリピンを対比して——
- 中国品質管理の展開と諸問題……………金 子 治 (21)
- MBB コンツェルンにおけるエアバス生産をめぐる  
 諸問題について……………高 橋 宏 幸 (35)  
 ——西ドイツ航空宇宙産業の構造転換に関連して——
- Industrial Dynamism and Entrepreneurship……………Tsutami Takahashi (59)  
 —— The Case of England (1880 to 1914) ——
- Management Strategy and DSS……………Kanji Sato (69)  
 —— Its framework and prospects ahead ——

## 研究ノート

インサイダー取引規制の現状と課題……………坂本恒夫(87)

## 第15巻第1号(1990年11月)

——藤田藤雄教授追悼論文集——

藤田藤雄教授追悼記念論文集の発刊に寄せて……………江口雄次郎(i)

故藤田藤雄君の霊に捧ぐ……………西野嘉一郎(iii)

藤田藤雄先生を偲ぶ……………井上信一(v)

藤田先生の「漸進主義」という私見……………津谷彰一(vii)

藤田藤雄教授を悼んで……………高松和男(ix)

## 論文

西ドイツ外国人労働者政策の展開……………池田重隆(1)

——導入・統合から帰国促進まで——

経営者報酬制度の構造と株式報酬制度の重要性……………菅野康雄(17)

フォレット管理論の一考察……………水元昇(33)

——責任論を中心として——

支配株主と少数株主の保護……………三森茂郎(47)

中国工業標準化の展開……………金子治(61)

企業集団経営論の視点と課題……………坂本恒夫(73)

複合経営型鉄鋼メーカーの組織変革……………高橋宏幸(85)

——我が国鉄鋼産業の産業構造転換に関連して——

藤田藤雄教授略歴・業績……………(103)

## 第15巻第2号(1991年2月)

——山口和雄教授退任記念論文集——

山口和雄先生と私……………高松和男(i)

山口和雄教授退任記念論文集の発刊に寄せて……………江口雄次郎(iii)

## 論文

山口和雄教授の研究業績紹介……………林玲子(1)

——1977年以降——

三光汽船の自己資金船建造政策……………杉山和雄(11)

——1950年代後半期——

桐生織物買次商の一考察……………石井寛治(25)

——佐羽商店と書上商店——

大川平三郎と富士製紙……………	四 宮 俊 之 (39)
——兼任有力大株主経営者としての行動と足跡——	
組織における意思決定過程の構造問題……………	宮 沢 光 一 (53)
ソフトウェアの海外技術移転をめぐる諸問題……………	井 上 甫 (61)
受託者の忠実義務に関する考察……………	山 田 昭 (77)
——信託業法第10条をめぐる——	
結合企業間における取引行為の規制……………	三 森 茂 郎 (91)
ポートフォリオ・パフォーマンスの測定……………	長 屋 英 郎 (101)
電気通信サービス貿易制度の課題……………	江 口 雄次郎 (111)
構造行列による H. 社経営モデルについて……………	坂 手 恭 介 (123)
——酸素炉製鋼工場のモデル——	
企業集団経営の史的分析……………	坂 本 恒 夫 (143)
航空宇宙産業へのダイムラー・コンツェルンの再編について……………	高 橋 宏 幸 (159)
——MBBの系列化とDASAの機構改革に関連して——	
DSSからGDSSへの研究……………	佐 藤 完 治 (173)
環境管理システムへのアプローチ……………	関 口 義 一 (183)
——大気汚染防止システム構築を中心として——	
山口和雄教授略歴・業績……………	(199)

### 第15巻第3号 (1991年3月)

——山城 章教授退任記念論文集——

山城 章先生と私……………	高 松 和 男 (i)
山城 章教授退任記念論文集の発刊に寄せて……………	江 口 雄次郎 (iii)

### 論 文

山城経営学の独自性とその意義……………	森 本 三 男 (1)
企業における財務の領域……………	増 田 茂 樹 (11)
組織力と意思決定の速度……………	対 木 隆 英 (29)
企業におけるイノベーションの過程……………	富 田 忠 義 (39)
グローバル・マネジメントに関する一考察……………	小 椋 康 宏 (53)
——経営体制の発展とグローバル経営者——	
企業のグローバリゼーション……………	江 口 雄次郎 (65)
——ネットワークングを中心として——	
「経営者支配理論」と企業集団……………	坂 本 恒 夫 (75)
集団意思決定に自動技術がどのように影響するか……………	佐 藤 完 治 (85)
——アリゾナ大学方式の意思決定会議室における調査研究——	

D. M. コッツの金融支配論	佐久間 信 夫 (97)
Savageの期待効用について	土 谷 幸 久 (113)
山城 章教授略歴・業績	(139)

### 第16巻第1号 (1991年12月)

#### 論 文

「バンキング・ボード」設置構想再論 (1)	武 藤 正 明 (1)
債券利子率の期間構造	長 屋 英 郎 (23)
ダイムラー・ベンツの統合的技術コンツェルンへの再編成	高 橋 宏 幸 (39)
——研究開発体制と取締役会構成メンバーの業務分担に関連して——	
企業の海外進出とカントリー・リスクについて	佐 藤 完 治 (65)
Savageの期待効用理論の延長	土 谷 幸 久 (81)
——完全加法性と非有界性——	
電力産業における競争の可能性と電気料金契約の検討	天 谷 永 (105)

### 第16巻第2・3合併号 (1992年3月)

#### 論 文

「バンキング・ボード」設置構想再論 (2)	武 藤 正 明 (1)
台湾の信託法について (1)	山 田 昭 (19)
構造行列による H. 社経営モデルについて	坂 手 恭 介 (35)
——目標関数の導入による企業計画モデル (終章) ——	
コンツェルン内人的結合としての	
兼担取締役とコンツェルン形態	高 橋 宏 幸 (73)
——統合的技術コンツェルンのマネジメント・ホールディング化に関連して——	
「企業行動仮説モデル」の妥当性についての	
シミュレーションによる検証	佐 藤 完 治 (101)
——ボニーニ=星野靖雄型モデルおよび日産自動車のデータに基づいて——	
J. M. Budishの人民資本主義批判	佐久間 信 夫 (115)
会計ディスクロージャーの構造	前 田 清 隆 (129)
——FASBのSFAC第5号を中心として——	
エネルギー供給政策への多基準意思決定モデルの導入について	天 谷 永 (139)



## 第17巻第1号 (1992年7月)

## 論 文

A Simplified Country Risk Evaluation

Simulation Model ..... 佐藤 完治 (1)

再生可能資源と再生不可能資源を統合した一般最適化モデル ..... 天谷 永 (11)

店舗内消費者情報処理メカニズムの解明と

マーケティング適応 (I) ..... 渡辺 隆之 (21)

## 研究ノート

アジア地域経営論の体系化に向けての試論 (第一部) ..... 井上 甫 (45)

動的計画法の中の変分法 ..... 土谷 幸久 (69)

## 第17巻第2号 (1992年11月)

## 論 文

1948年8月の非公式覚書 ..... 武藤 正明 (1)

——金融機構の全面的改革指令——

中国の科学技術政策とその課題 ..... 金子 治 (15)

V. パーロの人民資本主義批判 ..... 佐久間 信夫 (31)

店舗内消費者情報処理メカニズムの解明と

マーケティング適応 (II) ..... 渡辺 隆之 (45)

Japanese investment and new

technology in Thai manufacturing,

and its employment implications ..... 栗山 直樹 (63)

## 研究ノート

アジア地域経営論の体系化に向けての試論 (第二部) ..... 井上 甫 (83)

## 第17巻第3号 (1993年3月)

## 論 文

わが国における不動産の証券化 ..... 山田 昭 (1)

地域主義と日本企業の対応 (1) ..... 江口 雄次郎 (17)

——地域主義化の動向と日本企業の選択肢——

T. Veblen の産業合同論 ..... 佐久間 信夫 (25)

総合建設会社の経営分析 ..... 前田 清隆 (39)

——現状と問題点——

SSB について	土 谷 幸 久 (51)
Policy Implications for Future Power Source Option in Japan	天 谷 永 (83)
消費者情報処理メカニズムの解明と マーケティング適応 (Ⅲ)	渡 辺 隆 之 (93)

### 第18巻第1号 (1993年7月)

#### 論 文

T. Veblen の営利企業衰退論	佐久間 信 夫 (1)
コンフォート・レターにおける事後の変動について —— SAS 第72号を中心として——	前 田 清 隆 (19)
店舗内消費者情報処理メカニズムの 解明とマーケティング適応 (Ⅳ)	渡 辺 隆 之 (31)
環境資源の最適管理 (Ⅰ)	天 谷 永 (47)

#### 研究ノート

ファジィ多段階意思決定 —— Kacprzyk の方法を中心として——	土 谷 幸 久 (61)
製造業における地域中小企業集積の発展に関する一考察 —— ILO の坂城町への関心と地域労働市場の課題——	栗 山 直 樹 (77)

### 第18巻第2号 (1993年11月)

#### 論 文

パットマン報告書における商業銀行の所有と支配	佐久間 信 夫 (1)
有価証券の評価 —— FASB・SFAS 第115号を中心として——	前 田 清 隆 (15)
店舗内消費者情報処理メカニズムの 解明とマーケティング適応 (Ⅴ)	渡 辺 隆 之 (29)

#### 研究ノート

森林資源の最適管理	天 谷 永 (57)
人的資源開発に関する ILO 基準の設定 (Ⅰ) —— 基準設定までの系譜とその背景——	栗 山 直 樹 (67)

### 第18巻第3号 (1994年3月)

——宮澤光一教授追悼論文集——

(故) 宮澤光一先生を悼んで	高 松 和 男 (i)
----------------	-------------

宮澤光一教授追悼論文集の発刊に寄せて……………	江 口 雄次郎 (iii)
宮澤光一先生を偲んで……………	関 谷 章 (v)

## 論 文

研究開発に関する情報経済学的視点……………	新 家 健 精 (1)
——地域科学技術政策の展開に則して——	
ベイジアン理論と統計的实践……………	平 館 道 子 (17)
有限母集団からの標本抽出……………	美 添 泰 人 (25)
——ベイジアン統計学からの解釈——	
A Study on Stochastic Dominance……………	高 松 和 幸 (51)
組合財政からみた日本の産業別組合組織の現状……………	井 上 甫 (65)
通貨価値の安定と金融システムの安定……………	武 藤 正 明 (79)
経営的視点による内部統制……………	三 澤 一 (89)
利子率リスクのイミュニゼーション……………	長 屋 英 郎 (99)
リージョナル経営戦略の課題……………	江 口 雄次郎 (117)
中国工業企業の技術改造……………	金 子 治 (127)
企業経営における集団意思決定……………	佐 藤 完 治 (137)
パットマン報告書と銀行支配……………	佐久間 信 夫 (145)
業績評価と収益の認識……………	前 田 清 隆 (157)
店舗内消費者情報処理メカニズムの解明と	
マーケティング適応 (VI)……………	渡 辺 隆 之 (165)
証拠の不確実性……………	土 谷 幸 久 (185)
Why Is Price Elasticity of Gasoline Demand	
Positive in Japan?……………	天 谷 永 (199)

## 研究ノート

信託経済学研究序説……………	山 田 昭 (209)
人的資源開発に関する ILO 基準の設定 (II)……………	栗 山 直 樹 (219)
——条約案の提起とその修正過程——	
宮澤光一教授略歴・業績……………	(227)

## 第19巻第1号 (1994年7月)

## 論 文

監査役会の決議と監査役の責任……………	三 森 茂 郎 (1)
店舗内消費者情報処理メカニズムの	
解明とマーケティング適応 (VII)……………	渡 辺 隆 之 (15)

- AHP 中の調和 *Bel*・*PI* 関数……………土 谷 幸 久 (33)
- Forecasts of Gasoline Consumption  
by Passenger Cars in Japan……………天 谷 永 (51)

### 研究ノート

- 人的資源開発に関する ILO 基準の設定 (Ⅲ)……………栗 山 直 樹 (61)
- 勧告の性質と基準の適用——

### 第19巻第2号 (1994年11月)

#### 論 文

- 経営教育におけるシミュレーション・ゲーム利用の一考察……………佐 藤 完 治 (1)
- 株式相互所有に関する諸説の検討……………佐久間 信 夫 (21)
- 店舗内消費者情報処理メカニズムの  
解明とマーケティング適応 (Ⅷ)……………渡 辺 隆 之 (37)
- ファジィ情報の直観的情報量……………土 谷 幸 久 (65)

### 第19巻第3号 (1995年3月)

#### 論 文

- 東アジア地域における新たな国際経営戦略の展開……………江 口 雄次郎 (1)
- 生産文化の視点から——
- 企業集団における社長会の機能……………佐久間 信 夫 (13)
- 学校法人会計の再検討……………前 田 清 隆 (29)
- 計算体系を中心として——
- 結合ファジィ情報の直観的情報量……………土 谷 幸 久 (45)
- 競争優位の確保と共同化のメカニズム……………天 谷 永 (63)
- 「貿易の自由化における社会的側面」(ILO 事務局報告書を  
めぐって)……………栗 山 直 樹 (75)
- WTO 設立を前にした ILO の対応——

### 第20巻第1号 (1995年7月)

#### 論 文

- アジア地域における日本企業の技術移転と人材育成……………井 上 甫 (1)
- シンガポール・マレーシアを中心に——
- 株価の変動性……………長 屋 英 郎 (19)
- 複合ファジィ情報の直観的情報量……………土 谷 幸 久 (33)

## 書 評

清水龍瑩著『大企業の活性化と経営者の役割——大企業経営者の

インタビュー・サーバイを中心として——』……………高 橋 蔭 美 (51)

## 第20巻第2号 (1995年11月)

## 論 文

先物の収益率……………長 屋 英 郎 (1)

Chaotic Motions of Particles' Trajectories

at the Magnetic Neutral Sheet……………山 中 馨 (15)

生存可能システムモデルについて：

その構成要素と諸原理……………土 谷 幸 久 (29)

ABC の可能性 (前)……………平 岡 秀 福 (41)

——その再検討と新展開——

名古屋金融市場の動揺と不動産銀行……………植 田 欣 次 (55)

——『尾三農工銀行調査報告』(大正13年)の分析——

## 第20巻第3号 (1996年3月)

## 論 文

建設投資に関する一考察……………山 田 昭 (1)

会計方法の変更……………前 田 清 隆 (13)

——変更の「正当化」を中心として——

TPM を支援する原価管理システム……………平 岡 秀 福 (23)

——とくにコストコントロールを中心に——

直観的ファジィ情報量と推定……………土 谷 幸 久 (41)

現代企業論への一試論……………村 松 司 叙 (57)

## 第21巻第1号 (1996年7月)

——経営学部20周年記念論文集——

経営学部創立20周年を向えて……………江 口 雄次郎 (i)

経営学部創設のころ……………三 森 茂 郎 (ii)

## 論 文

会社合併を巡る商法と会計……………中 村 忠 (1)

環境管理システムと環境監査——EUにおける問題を中心として——……………三 澤 一 (9)

退出路としてのM&amp;A……………村 松 司 叙 (21)

経営シミュレーション・ゲームその1……………佐 藤 完 治 (35)

## Environmental and Technological Problems of

Alternative Energy Resources .....	山 中 馨 (47)
連結範囲画定基準について .....	前 田 清 隆 (59)
ファジィ情報の価値と情報量に関する比較条件の関係性 .....	土 谷 幸 久 (69)
自然環境の質と存在価値の新しい概念について .....	天 谷 永 (87)
CALS 環境下のコストマネジメント .....	平 岡 秀 福 (97)

『創価経営論集』総目次 (第1巻～第20巻) .....	(113)
------------------------------	-------

**第21巻第2号 (1996年11月)****論 文**

マルチメディアのバーチャル経営管理 .....	野 口 祐 (1)
企業リストラクチャリングの形態と資本市場への影響 .....	村 松 司 叙 (13)
効率的ポートフォリオ集合 .....	長 屋 英 郎 (47)
ドイツにおける大銀行と大企業 .....	佐久間 信 夫 (63)
生存可能システムモデル——その諸原理と経営管理上の意味 (前) —— .....	土 谷 幸 久 (79)

**第21巻第3号 (1997年3月)****論 文**

企業リストラクチャリングとコーポレート・ガバナンス .....	村 松 司 叙 (1)
ドイツのコーポレート・ガバナンス論	
——ベリッツ=セガーの所論を中心として—— .....	佐久間 信 夫 (31)
消費者行動によって自然環境の質の価値は測定できるか .....	天 谷 永 (49)
生存可能システムモデル——その諸原理と経営管理上の意味 (後) —— .....	土 谷 幸 久 (59)

**第22巻第1号 (1997年7月)****論 文**

企業リストラクチャリング戦略の策定とプロセス .....	村 松 司 叙 (1)
日本企業の経営構造とコーポレート・ガバナンス .....	佐久間 信 夫 (21)
日本企業の CALS と原価企画 .....	平 岡 秀 福 (37)

**第22巻第2・3合併号 (1998年3月)****論 文**

アメリカとドイツのコーポレート・ガバナンス .....	佐久間 信 夫 (1)
Recent developments of the food and drink industries in	

Japan with reference to technology and employment .....	栗山直樹	(21)
プロセス管理ツールとしての IDEF と ABC .....	平岡秀福	(57)
<b>書 評</b>		
十川廣国著『企業の再活性化とイノベーション』.....	高橋 蕙美	(69)

### 第23巻第1号 (1998年7月)

#### 論 文

Windows アプリケーション構築ツールとしての C++ と Java の能力分析 .....	山中 馨	(1)
T. ヴェブレンの企業理論 (1) .....	佐久間 信夫	(11)
企業間関係の新展開としてのバーチャル企業 .....	國島 弘行	(25)
間接部門の業務改革活動——Z社のケース・スタディ—— .....	平岡 秀福	(43)

#### 付 録

論文の書き方 .....	中村 忠	(59)
--------------	------	------

### 第23巻第2号 (1998年11月)

——武藤正明教授追悼論文集——

故武藤正明教授追悼記念論文集の発刊に寄せて .....	村松 司叙	(i)
武藤さんを偲ぶ——その学風について—— .....	西川 元彦	(iii)

#### 論 文

戦後インフレーションとドッジ・ライン ——『日本銀行百年史』第5巻第3章にちなんで—— .....	石田 定夫	(1)
日本の都市銀行エコノミストの果たした役割りと責任に関する試論 .....	神谷 満雄	(13)
金融の変容——ガーレイとショーからの決別—— .....	石野 典	(25)
昭和2年金融恐慌と政党政治 .....	鈴木 恒一	(39)
金融史と証券史の接点 .....	小林 和子	(51)
マレーシアにおける金融危機 ——1990年代半の海外資本の流入とその対策—— .....	露見 誠良	(65)
中国の金融改革と外国金融機関 .....	岡 正生	(79)
日本のIMF, 世界銀行への加盟について .....	浅井 良夫	(93)
日本銀行考査の成立 .....	斉藤 壽彦	(107)
沖縄返還と通貨交換 .....	伊藤 正直	(127)
都銀系地方銀行の優位性——戦時下の加州銀行を事例に—— .....	佐藤 政則	(143)
わが国中小企業金融制度の史的変遷 .....	伊藤 忠治	(151)
杉本正幸の「不動産金融体系」の特質 (1) .....	植田 欣次	(163)

武藤正明教授略歴・主要業績	(175)
---------------	-------

### 第23巻第3号 (1999年3月)

#### ——井上甫教授退任記念論文集——

井上甫教授退任記念論文集の発行に寄せて	村松司叙 (i)
井上甫先生と私	高松和男 (iii)

#### 論 文

賃金体系の発展・再考察	孫田良平 (1)
戦後国際労働政策の新展開	
——日米雇用共同研究, 多国籍企業労働政策を中心として——	保谷六郎 (15)
国際労働基準におけるストライキの権利をめぐる諸問題と	
ILO条約の国際法的特質	初岡昌一郎 (29)
アジアにおける労働市場制度の構築	鈴木宏昌 (41)
ASEANにおける子会社統括と人的資源管理の諸問題	白木三秀 (53)
台湾自動車産業——産業構造の特徴とWTO加盟への対応——	梶原弘和 (71)
台湾の信託法について (2・完)	山田昭 (83)
アメリカ企業支配論の展開	佐久間信夫 (97)
貿易と投資の自由化と国際協力における「労働」をめぐる多国間交渉の動き	
——アジア諸国の経済危機後 (1997年以降) の課題——	栗山直樹 (111)
井上甫教授略歴・業績	(121)

### 第24巻第1・2・3合併号 (2000年3月)

#### 論 文

ASOBAT小論	中村忠 (1)
環境情報の開示と監査	三澤一 (9)
日向中央銀行の破綻・処理と「担保付預金」	
——農銀「預け金」の一考察——	植田欣次 (23)
クライアント／サーバシステム構築におけるJavaの能力評価	山中馨 (65)
日本企業とステークホルダー	佐久間信夫 (75)

### 第25巻第1・2・3合併号 (2001年3月)

#### 論 文

Reforms Aimed at Improving Japanese Corporate Governance System	村松司叙 (1)
---	----------



## JavaBeans によるアプリケーション構築と

- コンポーネント技術の問題点……………山 中 馨 (9)
- 日本における株式会社機関改革の現状……………佐久間 信 夫 (27)
- 非営利組織と新しい経営理論
- J. リプナック & J. スタンプスと P. ドラッカーの所説を中心として——……………國 島 弘 行 (41)
- 戦略的アライアンスの範囲と安定性について……………天 谷 永 (49)
- 経営戦略のための事業評価システム——競争優位の視点から——……………平 岡 秀 福 (61)

## 第26巻第1号 (2001年12月)

## ——野口祐教授退任記念論文集——

- 野口祐先生の学会活動へのご貢献……………中 村 瑞 穂 (1)

## 論 文

- 日産生命の破綻について……………坂 口 康 (5)
- 循環型社会と企業経営——高耐久性の実現に向けて——……………貫 隆 夫 (21)
- 転換期の企業と経営——企業の成熟化の諸相と組織革新に寄せて——……………植 竹 晃 久 (31)
- バーチャルリアリティの社会的問題点……………中 根 勝 行 (41)
- ミドル・マネジメントの新たな役割——個人学習から組織学習へ——……………十 川 廣 國 (49)
- 研究開発国際化論の系譜……………林 倬 史 (63)
- 組織管理諸理論の基本的潮流……………石 本 裕 貴 (77)
- 産官学連携による研究人材のマネジメント……………中 原 秀 登 (89)
- 現代生産システムの一考察
- EMS (Electronics Manufacturing Service) の成長とそのメカニズム——……………秋 野 晶 二 (101)
- 日本企業の競争優位戦略再論……………金 子 秀 (115)
- セル生産方式起原とその評価……………那須野 公 人 (131)
- 韓国財閥におけるグループ経営権継承問題——一族間継承の変容——……………柳 町 功 (141)
- 中国の民営経済化と中国経営学への展望……………高久保 豊 (153)
- テイラーシステムとフォードシステムに見る
- 「生産力」概念の質的展開……………前 田 淳 (169)
- 合併課税への分岐点……………三 森 茂 郎 (187)
- CORBA と JavaRMI による分散オブジェクトシステム構成……………山 中 馨 (211)
- 三菱商事の企業統治改革……………佐久間 信 夫 (225)
- PREFMAP とポジショニングマップによる
- マーケットシェアシミュレーション……………金 子 武 久 (239)
- 野口祐教授略歴・業績……………(255)

## 第26巻第2号(2002年2月)

——村松司叙教授退任記念論文集——

村松司叙先生のご貢献……………佐久間 信 夫(1)

## 論 文

モデル分析による自社株式取得の本質……………市 村 昭 三(3)

企業観の転換と起業支援システム……………柴 川 林 也(21)

ステークホルダー・アプローチの展開と系譜……………森 本 三 男(35)

Strategic actors and constructed identities:

Power and politics in organization theory……………Karl Sandner / Renate Meyer(47)

Corporate Culture and Leadership in Integration Management

Through M&amp;A:some hypotheses and empirical evidences……………Sung-Jo Park(61)

企業買収予測の情報分析……………宮 本 順二郎(79)

会社再編における資産移転の課税関係

——現物出資・事後設立・株式交換・株式移転——……………三 森 茂 郎(93)

The End of Japanese Exceptionalism?……………Philippe Debroux(117)

企業支配論の論点……………佐久間 信 夫(127)

無関係形態仮説に関する統計的仮説検定——反証主義的適用の試み——……………金 子 武 久(135)

Japanese TNC-SME linkages through industrial subcontracting……………栗 山 直 樹(147)

情報技術が経営組織に与えた影響 その1

——経営情報小史とビジネスモデルの動向——……………岡 田 勇(159)

戦略的アライアンスにおける進化過程と安定性……………川島秀明・天谷 永(175)

村松司叙教授略歴・業績……………(193)

## 第26巻第3号(2002年3月)

——中村 忠教授退任記念論文集——

中村忠先生：人と学問……………山 浦 久 司(1)

## 論 文

不正な財務報告と財務諸表監査

——米国POB「監査の有効性」専門委員会報告書が描く監査の近未来——……………山 浦 久 司(5)

環境会計と証券市場……………須 田 一 幸(15)

制度会計における長期資産の分類に関する検討

——有形固定資産等明細票が示唆するもの——……………佐 藤 文 雄(29)

The Need of Split Accounting for Convertible Debt……………野 口 晃 弘(39)

地方公共団体における固定資産の属性	大塚成男	(51)
公正開示規則の財務報告に与える影響	三浦敬	(63)
買入のれんの費用化——償却と減損——	篠原繁	(75)
会社分割における税法上の繰延資産と引当金の引継ぎ	三森茂郎	(85)
V. パーロの株式会社支配論	佐久間信夫	(105)
統計的仮説検定の反証主義的解釈の試み	金子武久	(119)
情報技術が経営組織に与えた影響 その2		
——媒体の変化と組織の仮想化について——	岡田勇	(131)
中村忠教授略歴・業績		(145)

### 第27巻第1号 (2003年1月)

#### 論 文

JSP によるソフトウェアのコンポーネント化と

ソフトウェア技術者の分業化	山中馨	(1)
監査役機能強化と企業統治活動の実態	佐久間信夫	(15)
Changes in Industrial Relations in Japan	Philippe Debroux	(25)
公開データに基づく EVA の計算ロジック	平岡秀福	(41)
一般壺スキーマによる one-to-one コミュニケーション変容モデル	岡田勇	(51)

#### 付 録

論文執筆のガイドライン	山中馨	(67)
-------------	-----	------

### 第27巻第2・3号 (2003年2月)

#### 論 文

杉本正幸の不動産銀行論——『不動産金融論』(昭和5年刊)の意義——	植田欣次	(1)
委員会等設置会社と企業統治	佐久間信夫	(29)
人的資源と内部コントロールに関する考察		
——変革型リーダーシップ論の一考察——	犬塚正智	(41)
セオリーZ論争の再検討と信頼		
——日本の信頼の現代的意義検討のために——	國島弘行	(65)
企業価値評価モデル間の数理的関係	平岡秀福	(81)
情報技術が経営組織に与えた影響 (その3)		
——情報戦略とオープン志向——	岡田勇	(91)

## 第28巻第1-3号 (2004年3月)

## 特集論文

- 企業社会責任の論拠とステークホルダー・アプローチ……………森 本 三 男 (1)
- 社会的責任論の源流とA. マーシャルの経済的騎士道論……………櫻 井 克 彦 (15)
- 企業の発展に伴う社会的責任の位置変化……………対 木 隆 英 (27)
- 国連グローバル・コンパクトの意義および課題……………梅 田 徹 (39)
- イノベーションと企業の社会的責任……………高 橋 蔦 美 (55)
- 委員会等設置会社の運営と企業統治の現状……………佐久間 信 夫 (65)
- Reflexions on the Debate on Corporate Social Responsibility……………Philippe Debroux (79)
- 労働分野における企業の社会的責任をめぐる動きとILO・労働組合の対応  
——ILO理事会文書と英国TUCの機関投資家戦略文書の概要とその意味——……………栗 山 直 樹 (89)
- 企業経営における価値創造のフレームワーク……………平 岡 秀 福 (105)

## 一般論文

- 人間主義経営論の試み……………山 中 馨 (115)
- 持続可能な経済成長に関する覚書……………堂 前 豊 (129)
- シミュレーション技法の発展に基づくモデロジーに向けて(1)……………岡 田 勇 (141)
- 経営学会会員学術活動報告……………(159)

## 第28巻第1・2号 (2004年12月)

## 論 文

- 人間主義経営と松下電器経営革新の精神……………山 中 馨 (1)
- リーダーシップ能力と人間主義マネジメント……………犬 塚 正 智 (15)
- 計算社会科学のためのシミュレーション研究の可能性について  
——モデロジー(2)——……………岡 田 勇 (41)
- インターネットCRMにおけるデータマイニングの位置づけ……………金 子 武 久 (57)
- 90年代における消費者行動研究の動向  
——情報処理研究と店舗内購買行動を中心として——……………渡 邊 隆 之 (71)

## 第29巻第3号 (2005年3月)

- 環境経営とSRI……………所 伸 之 (1)
- Corporate Social Responsibility in the Age of Globalisation……………Gyorgy Szell (17)
- 消費者の環境問題に対する本音と建前……………金 子 武 久 (33)
- 中小企業向け無料経営相談の構想……………望月雅光；佐藤完治 (55)

環境問題におけるフリーライダーを排除するマイノリティについて

- 互恵主義が集会的進化安定になるためのゲーム理論的解析—— …… 岡 田 勇 (65)  
 環境政策と企業の排出量削減インセンティブ …… 天 谷 永 (77)

### 第30巻第1号 (2006年1月)

#### 論 文

- CSR と人間主義リーダーの重要性 …… 山 中 馨 (1)  
 Financial Globalization and the Roles of Competition  
 —— Restriction Policies —— …… 堂 前 豊 (17)  
 携帯電話授業支援システムの構築と運用 …… 岡 田 勇 (41)

#### 報 告 書

- 〔創価大学〕経営学部・経済学部生の入試受験時における  
 学部志望意識調査報告 …… 山 中 馨 (63)

### 第30巻第2・3号 (2006年3月)

- 外部監視と日本の企業統治 …… 佐久間 信 夫 (1)  
 Corporate Social Responsibility in Asia: the Beginning of the Road …… Philippe Debroux (17)  
 台湾半導体製造企業の競争戦略 …… 犬 塚 正 智 (31)  
 Web サイトにおけるアクセス者のサイト離脱とサイト内遷移 …… 金 子 武 久 (45)

### 第31巻第1・2号 (2007年2月)

- The development of a stable and sustainable employment system  
 in East and South-East Asia …… Philippe Debroux (1)  
 環境規制と競争戦略——「ポーター仮説」の再検討—— …… 天 谷 永 (23)  
 CSR 推進における企業・労働組合・NGO のパートナーシップの国際的展開  
 ——労働におけるマルチステークホルダー・アプローチの萌芽—— …… 栗 山 直 樹 (35)  
 新しい市民社会論と市民経営学をめぐっての覚書 …… 國 島 弘 行 (51)  
 コモン・プールとしての預金市場と金利規制 …… 堂 前 豊 (69)

### 第31巻第3号 (2007年3月) [創価大学] 経営学部開設30周年記念号

——特集 経営教育の現状と課題——

#### 特集論文

- 経営者教育——MBA コースとその対極 …… 森 本 三 男 (1)  
 わが国の大学における経営教育——誰が、なにを、どのように教えるのか—— …… 佐々木 恒 男 (13)  
 ビジネス系社会人大学院の動向と中規模後発大学における立ち上げ事例

- 桃山学院大学の「日中連携ビジネスコース」の経験を中心にして——……………片岡信之 (21)
- 地域経営論教育の発展……………齊藤毅憲 (39)
- 経営教育学序説——『成功要因分析』と「経営者ランキング」の意義——……………辻村宏和 (51)
- 経営者交代と経営教育——(株)ミスミの事例を手がかりとして——……………吉田優治 (63)

#### 一般論文

- 預金調達を通じた金融深化と金融抑制……………堂前豊 (75)